

# ざ・ちゅうおうぷれす



特集

10年後の子どもたちにも読んでほしい!



## 本のPOP作品募集!

## 令和4年人気資料ランキング

図書の人気ベスト10を全館の予約数をもとに集計しました

### イベントレポート

- ・「図書館コンサート」
- ・世田谷区制90周年企画「文字・活字文化の日記念講演会」
- ・世田谷区家庭読書の日記念講演会「子どもの本が世界をつなぐ」
- ・子どもの本の講座「イギリスの児童文学」

NEW

新着図書案内

### 新種発見!

見つけて、調べて、名付ける方法

### 戯れる江戸の文字絵

十返舎一九『文字の知画』よみがえる大衆の笑い

### お守りを読む

日本人は何を願ってきたのか

### 絵で旅する国境



12月22日から2月16日にかけて中央図書館ロビーにて、POPの展示を行いました。色とりどりのPOPが掲示板を彩り、どれもこれもつい手に取って読みたくなるような作品に、ご来館いただいた利用者の方々の多くが目を引き付けられていました。

10年後の子どもたちにも読んでほしい!



## 本のPOP作品募集!

世田谷区は昨年10月1日をもって区制施行90周年を迎えました。世田谷区立図書館ではこれを記念し、区内在住、在学の小中学生の皆さんが実際に読んで面白いと感じている児童文学・絵本などを、10年後の子どもたちに紹介すると想定し、その内容やおすすめポイントを紹介するPOPを募集しました。

児童文学や絵本は長年にわたり読み継がれている作品が多く、親子三代で読まれているものも多数あります。POPを通じ、今と未来の子どもたちが共通の本で読書の楽しさ、喜びを体験する機会の一助になればと思います。

今回は応募作品の中から一部を紹介させていただきます。また、株式会社ポプラ社の編集者の方々のご厚意によりPOPをご覧いただいたコメントを頂戴しました。この場をかりてお礼申し上げます。

POPを描いた、見た、現在の子供たちが、そのまた子供たちへと自身の読んだ本・絵本を読み伝える、そんな読書のバトンを繋げていくきっかけになれば幸いです。

でんししょせき

## すべてのPOP作品が電子書籍になりました

展示期間終了後、応募いただきました作品は、世田谷区立図書館の資料として、所蔵される予定です。

さきがけて、世田谷区電子書籍サービス内でも、電子化したPOPを掲載しております。各作品は予約ページへリンクされるボタンがついており、POPで紹介されている本の世田谷区立図書館ホームページ上の予約ページへとアクセスできるようになっております。展示期間中にご覧いただけなかった方も、電子書籍にてお楽しみいただければ幸いです。

また、電子書籍サービスをご利用いただくには図書館で発行しているID、パスワードが必要ですが、このPOPはそれらが不要なく、どなたでもご覧いただけますので、電子書籍サービスをまだ利用したことがない方も是非一度ご覧ください。



こちらより →  
ご覧いただけます





# みんなのPOPしょうがい!



ポプラ社の編集担当のみなさま・中央図書館の會田館長が  
みんなのPOPを見てくれました!



## 十年屋

作：廣嶋玲子  
絵：佐竹美保  
静山社

カラフルな色使いが楽しいですね。ミステリアスな世界に入っていきたくなりました。(中央図書館 會田館長)



## かがみの孤城

著：辻村深月  
ポプラ社

物語の世界にさそいこむ絵と言葉が印象的で、ミステリアスなふんいきがすごいです!(ポプラ社・編集担当 吉田様)



## ぼくらの七日間戦争

作：宗田理  
絵：はしもとしん  
角川書店

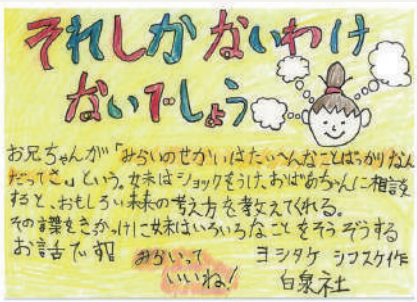
素敵イラストで、力を合わせてがんばる雰囲気がよく出ていますね。(中央図書館 會田館長)



## かがみの孤城

著：辻村深月  
ポプラ社

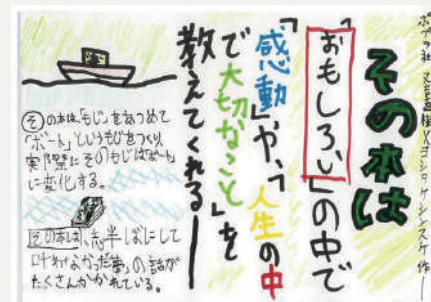
主人公のころちゃんに絵に目をひかれました!メッセージも強く伝わってきます。(ポプラ社・編集担当 吉田様)



## それしかないわけがないでしょう

著：ヨシタケシンスケ  
白泉社

「みらいっていいね」と言えるのは素晴らしいですね。先の見えにくい時代だからこそ、みらいについて考えてみたくなりました。(中央図書館 會田館長)



## その本は

著：又吉直樹  
ヨシタケシンスケ  
ポプラ社

メインコピーがしゅういつです!「おもしろい」の中に詰め込んだものを見つけてくれてありがとう!(ポプラ社・編集担当 藤田様)



## 世界一クラブ

作：大空なつき  
絵：明菜  
KADOKAWA

世界一おもしろい話を、多くの人に読んでもらいたい気持ちが伝わってきました。(中央図書館 會田館長)



## かいけつゾロリ ちきゅうさいごの日

著・絵：原ゆたか  
ポプラ社

インパクトのある絵でした。何で守るのが、におわせているところが楽しいPOPです。(ポプラ社・編集担当 浪崎様)

## 「図書館コンサート」

11.3 Thu

今年度の「図書館コンサート」は、中央図書館プラネタリウムにて、弦楽四重奏団「レガロ ムジカ アンサンブル」による演奏をお聴きいただきました。

プログラム前半はモーツァルトやヨハンシュトラウス 2 世をはじめとしたクラシックの名曲、後半は子どもから大人まで広く親しまれているアニメ映画のテーマ曲などが披露されました。

最後の曲では、同時にプラネタリウムの投影があり、星空を眺めながら演奏をお楽しみいただき、約50分間のコンサートを終えました。

終演後のアンケートでは、「プラネタリウムと曲がマッチして感動した」「子どもも楽しんで聴けてよかった」などの感想が多く寄せられました。



弦楽四重奏団「レガロ ムジカ アンサンブル」による演奏

イベントに関連した資料



小学生のための  
はじめての「クラシック音楽」  
著：「子どもとクラシック音楽」研究会  
メイツユニバーサルコンテンツ



Invitation to FANTASY WORLD  
演奏：葉加瀬太郎（ほか）  
ハッツアンリミテッド  
発売番号：HUCD-10037

## 世田谷区制90周年企画 「文字・活字文化の日記念講演会」

11. 5 Sat

第一部では、図書館にておはなし会等のボランティア活動を行っている子ども読書リーダーが世田谷区90年の歴史を振り返るとともに、読書リーダーが考えた90年後の図書館について発表しました。約200名の観客の前で堂々と発表し、来場された観客から大きな拍手をいただきました。

第二部では、作家の池澤夏樹さんをお呼びし「国の針路と個人のか 沖縄を例として」のタイトルで講演いただきました。講演では米軍基地を沖縄に置くことの危険性及び観光・物流・文化の観点から池澤さんならではの沖縄の可能性および特性を語っていただきました。参加者が終始メモを取りながら熱心に聞き入っている様子が大変印象的でした。



子ども読書リーダーが90年後の図書館について発表しました

イベントに関連した資料



スタイル・ライフ（中公文庫）  
著：池澤夏樹  
中央公論新社



ワカタケル  
著：池澤夏樹  
日経 BP 日本経済新聞  
出版本部

# 世田谷区家庭読書の日記念講演会 「子どもの本が世界をつなぐ」

12.3 Sat

世田谷区家庭読書の日記念講演会「子どもの本が世界をつなぐ」を開催し、講師には、翻訳家・編集者のさくまゆみこさんをお迎えいたしました。

はじめに、「子どもの本は窓」をテーマに、本は子どもにとって、海外の文化や価値観を知るきっかけになることを教えていただきました。講演会後半では、「アフリカ子どもの本プロジェクト」の活動内容について、ケニアに設立した図書館「ドリームライブラリー」の設立背景や、日本の図書館との違いについて画面に投影しながら紹介していただきました。



さくまゆみこさん

最後は、さくまさんが翻訳者として普段意識していること、実際の翻訳作業についてお話しくださいました。海外の作品を様々な視点から読み解いて、言葉のわかりやすさを意識しながら翻訳されているとのことでした。



翻訳家・編集者のさくまゆみこさん

イベントに関連した資料



どうしてアフリカ?  
どうして図書館?  
著：さくまゆみこ  
絵：沢田としき  
あかね書房



シャーロットのおくりもの  
作：E.B. ホワイト  
絵：ガス・ウィリアムズ  
訳：さくまゆみこ  
あすなろ書房

# 子どもの本の講座 「イギリスの児童文学」

1.11 /1.18 Wed

日本女子大学の佐藤和哉教授をお招きし、2日間に渡って「イギリスの児童文学」の講演会を行いました。イギリスで児童文学が誕生・発展した歴史的背景や「ロビンソン・クルーソー」「ピーター・パン」「ホビットの冒険」「くまのパディントン」シリーズについてお話しくださいました。

作品の生まれた社会的背景を知ると、それまでとは違う読み方ができることをお話しいたき、先生の楽しいお話も相まって大盛況な講演会でした。



日本女子大学の佐藤和哉教授

イベントに関連した資料



ホビットの冒険  
著：J.R.R. トールキン  
訳：瀬田貞二  
岩波書店



〈読む〉という冒険  
—イギリス児童文学の森へ—  
(岩波ジュニア新書 947)  
著：佐藤和哉  
岩波書店



### 新種発見! 見つけて、調べて、名付ける方法

編・著：馬場友希 福田宏  
山と溪谷社  
書誌番号：006453535

地球上には推定870万種もの生物が存在すると言われていますが、名前がつけられているのはわずか150万種、すなわち全体の80%以上の種にはまだ名前がつけられていません。このような生きものを適切な分類学的位置に整理し学名をつけることを新種記載と呼びます。この本に載っている、未知の生物が発見され新種として記載されるまでの全19種のエピソードはどれも新種発見の驚きと喜びが詰まっています。

新種の生物はめったに見つけることができない希少なものであると思いがちですが、意外と普通なようです。例えば、キノコは4%ほどしか命名されていないし、4歳児が新種を発見したヨコエビや、鹿児島で見つかったオシリカジリムシのカイアシ類もまだまだ開拓の余地があるようです。好きな方はぜひ、新種を見つけて命名してみてくださいね。



### 戯れる江戸の文字絵

十返舎一九『文字の知画』よみがえる大衆の笑い

著：楊曉捷  
監修：板坂則子  
マール社  
書誌番号：006446263

誰もが知っている落書きの定番「へのへのもへじ」は、文字遊びの一種で、このように文字を組み合わせで作られた絵を「文字絵」といいます。

本書は、『東海道中膝栗毛』で有名な十返舎一九による文字絵の滑稽本『文字の知画』（もんじのちえ）を現代語読みで表記し、内容を分かりやすく説明したものです。

登場人物は老若男女総勢41人と犬1匹。文字絵に添えられた口上を読むと、うぬぼれ屋だったり愚痴をこぼしていたり、中には尾籠な話も出てきますが、どれも何とも言えない可笑しみを含んでいます。絵の中に隠された文字を探しつつ、江戸の市井の暮らしに思いを馳せてみてください。



### お守りを読む 日本人は何を願ってきたのか

著：鳥居本幸代  
春秋社  
書誌番号：006444183

令和5年、みなさんは初詣に行きましたか。おみくじを引いたりお守りを授かったりした方もいらっしゃるでしょう。最近は、カラフルなものやキャラクターものなど、個性的な「お守り」もありますね。

本書は、お守りのルーツをたどりながら厄災から身を守る方法の歴史・意義・文化についてふれ、今日の「お守り」の成立過程について書かれています。

最古のお守りは、延暦9（790）年の長岡京で天然痘感染から身を守るための呪符木簡だということや神社や寺から授かるようになったのは明治時代からということなど、知らなかった歴史やエピソードが沢山載っています。いつもそっと勇気を与えてくれるお守りについて読んでみてください。



### 絵で旅する国境

文：クドル 絵：ヘラン  
訳：なかやまよしゆき  
文研出版  
書誌番号：006448300

国境を越えたことがありますか。世界には山や海、川で区切られた国境もあれば、陸地で人為的に仕切られた国境もあります。島国の日本ではあまり馴染みのない国境。鳥や魚は自由に越えられますが、目には見えない国境線に仕切られ人間は簡単には越えられない時もあります。様々な国境の様子を見てみましょう。

世界中を旅した著者が6年以上の時間をかけて作り上げた作品です。現在、インターネットで簡単に世界につながることができるようになりましたが、国を隔てる国境は確かにあります。写真のように美しく繊細なタッチで描かれたイラストが世界の国境をめぐる旅へと誘います。

# 人気資料ランキング



図書の人気ベスト10を全館の予約数をもとに集計しました。  
直木賞や芥川賞受賞作や候補作は、やはり皆様注目されるのか  
予約が多くなる傾向にあります。最近では本屋大賞受賞作や  
ノミネート作の予約の伸びも大きくなっています。

## 一般図書編

#1



**同志少女よ、敵を撃て**  
著：逢坂冬馬  
早川書房

#2



**おいしいごはんが食べられますように**  
著：高瀬隼子  
講談社

#3



**奇跡**  
著：林真理子  
講談社

#4



**夜に星を放つ**  
著：窪美澄  
文藝春秋

#5



**六人の嘘つき大学生**  
著：浅倉秋成  
KADOKAWA

#10



**80歳の壁**  
(幻冬舎新書)  
著：和田秀樹  
幻冬舎

#9



**黒牢城**  
—Arioka Citadel case—  
著：米澤穂信  
KADOKAWA

#8



**三千円の使いかた**  
(中公文庫)  
著：原田ひ香  
中央公論新社

#7



**ジェyson流 お金の増やし方**  
著：厚切りジェyson  
ぴあ

#6



**マスカレード・ゲーム**  
著：東野圭吾  
集英社

#3



**こころ**  
著：夏目漱石  
新潮社

#2



**そして、パトンは渡された**  
著：瀬尾まいこ  
文藝春秋

#1



**かがみの孤城**  
著：辻村深月  
ポプラ社

## 中高生向き資料編



## 図書館からのお知らせ

4月23日は子ども読書の日です。子どもの読書活動についての関心と理解を深め、積極的に読書活動を行う意欲を高めるために定められました。世田谷区立図書館では子ども読書の日を記念してイベント等を開催します。

### 「なぜ?なに?大はっけん!! かがくのおはなし会」

自宅でもできる簡単な科学の実験や身近な自然を題材にした「科学えほん」の読み聞かせなど盛り沢山の内容です。

日時 4月16日(日) 午後3時~3時40分  
場所 中央図書館3階「ぎんが」  
対象 未就学児~小学校低学年まで 先着30組  
(未就学児は保護者同伴)

※申し込みは不要です・当日は直接会場にお越しください。

### 子ども読書の日記念講演会

### 「とっておきのおはなし」

物語はどのようにつくられるのでしょうか。ひとつの物語が生まれるまでの秘密を、児童書作家のあんびるやすこさんにお話ししていただきます。

日時 4月22日(土) 午後2時~3時  
場所 中央図書館3階「ぎんが」  
対象 小学生以下の子およびその保護者  
(区内在住・在学の方優先)  
定員 抽選70人(要申込)  
申込み 4月1日~4月10日まで  
オンライン手続きにて受付

SEIJO KYODO  
CORTY CORTY

### 絵本を寄贈いただきました

経堂コルティ・成城コルティ様より世田谷区立図書館に絵本を63冊寄贈していただきました。これはLINEアカウントを通して小田急の商業施設を利用しているお客様に選択していただいた、自治体の取り組みに沿った物品を寄贈していただく「マチチカ、ヒトチカ プロジェクト第一弾~小田急の商業施設とともに地域の子供たちにギフトを届けよう~」として寄贈していただいたものです。いただいた絵本は図書館に所蔵し、大切に利用させていただきます。



#### [編集後記]

今号で特集した区制 90 周年記念POP募集に応募のあった作品の数々を見させていただく中で、私が子供の頃に読んでいた本も数多くあり、つい目を奪われてしまいました。子供の頃に読んだ本がさらに次の世代にも受け継がれているということを実感し、喜びと同時に、時間の経過をひしひしと感じます。

大人になり図書館職員となったいま、今度は本を利用者の皆様に紹介し、受け継いで行く立場となりました。皆様が最近読んだ本、お気に入りの本についてご家族や友人と語り合う、図書館職員としてそのような機会の一助になればと思います。【T.I】